



# 吉高ニュース

平成27年度 5月号

岐阜県立吉城高等学校渉外部

## 4月の様子 ～校訓「行学一致」「自主・創造」「心身の錬磨」～

### 4/8 入学式 (全日制第60回生)

普通科83名、理数科40名の計123名が入学しました。入学式では新入生を代表して、谷口奈都さんが宣誓しました。式終了後、最初のホームルームを行い、その後、正面玄関で恒例のクラス写真を撮影しました。



「専心学業に励んで、本校の生徒として誇りある生活をすることを誓います。(新入生宣誓)」。入学式にふさわしいお天気に恵まれ、新しい高校生活がスタートしました。

### 4/9 対面式 4/10 部紹介

入学式の翌日、新入生と2・3年生が顔を合わせる対面式では、生徒会長の宇津宮大我さんが新入生へ歓迎の言葉を述べ、羽場明日華さんが新入生を代表して挨拶しました。翌日の部紹介では、各々が実演や寸劇など工夫を凝らした演出で新入生に入部を呼び掛け、大きな拍手が送られていました。



「対面式で、新入生は入場の様子がきちんとしていました。落ち着きもありました。」(2年生男子)「先輩たちの部紹介は、大変楽しかった。どんな部活にしようか悩みます。」(新入生男子)

### 4/16, 17 新入生放課後学習会

新入生が、吉城高校生としての学習方法や学習態度を身につけられるように、その教育支援の一環として、授業と家庭学習の取り組み方の初期指導を行います。16日と17日は放課後2時間を使って、全員参加の「放課後学習会」を行い、自主的に学ぶ姿勢の定着化を図りました。どのクラスの新生も、自らの学習に集中して取り組んでいました。



「入学して間もなく、授業への取り組み方、そして、家庭での予習・復習の仕方やノートの作り方など、勉強方法について多くを学ぶことができました。これから、しっかりと頑張ります。」(新入生女子)

### 4/19 古川祭 (英語ボランティア)

3年目となる活動です。「地域に根付いた、地域に愛される、地域に貢献できる学校」の実現を目指して行っている「地域課題解決型キャリア教育」の一環です。19日(日)と20日(月)の日中、街に出て外国人観光客に向けて英語で古川祭を案内しました。19日は2年生を中心に、20日は3年生文系の英語会話の授業の生徒が活動しました。



「一七日に本校で、市観光協会と株美ら地球の方に来ていただいて「古川祭 英語案内ボランティア事前研修会」を開催しました。古川祭の概要や歴史を勉強し、外国人観光客へのガイドの仕方を練習しました。」

## 宮城県南三陸町のひまわりを育てませんか？

東日本大震災から4年。昨年度、私たち写真部は、被災地から届いた「復興への思いが込められたひまわりの種」を学校で育てました。



ひまわりプロジェクトの様子は、「キラメキ写真館第12号」の86～93ページをご覧ください。

大津波に負けず、芽を出し、花を咲かせたひまわり。昨年は、そのひまわりを吉城高校で育てました。今年はこの地域をひまわりでいっぱいにしていきましょう！

宮城県南三陸町の写真家佐藤信一さんからの写真やひまわりの花を通して、私たちの震災への記憶を確かなものにしていきましょう。

## 「被災地の痛みを忘れない」

宮城県南三陸町のひまわりを飛騨で咲かせよう！プロジェクト

このプロジェクトにぜひご賛同ください。

詳しくは吉城高校写真部顧問（鈴木）までお問い合わせください。

写真部は、被災地の写真を撮影し送ってくださる南三陸町の佐藤信一さんとの交流を続け、カベ新聞「被災地のいま／南三陸から」を発行し、被災地の様子を伝えていきます。

吉城高校広報誌「吉高ニュース」は、

～吉城高校が地域の皆様からより愛される高校になるために～

地域と学校の懸け橋となり、吉城高校の魅力を発信していきます。

\* 古川町と宮川町の方には回覧で、河合町の方には各世帯でお読みいただいております。また、吉城高校のホームページからでもご覧になれます。

\* なお、「吉高 Today」と「ひだラポ」は、ほぼ毎日更新しております。

皆様のご意見をお寄せください。（担当：吉城高校渉外部）